

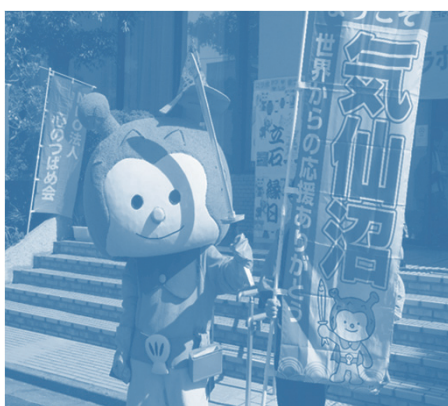
葛飾区内の市民活動を充実させるために

地域貢献活動 Support Desk News

2015年12月25日発行



コラボかつしかまつり 来場者1000人！！！！



10月25日（日）に第10回目の開催となる「コラボかつしかまつり」が行われました。主に葛飾区内でNPOや地域貢献活動などをされている方々が主体となり、約1000名の来場者を楽しんでいただきました。

■講座・イベント情報

■専門相談

■一般相談

■コラボかつしかまつり

■いいね！かつしか

→学校法人東京シュレー学園 東京シュレー葛飾中学校

■メールマガジン

■コラム ③災害とCSR

※入門講座・専門講座・ミニ交流会・専門相談のお申し込みは
地域貢献活動サポートデスクへご連絡をお願いします。

講座・イベント情報

NPO入門講座

◇NPO入門講座【設立編】【運用・応用編】◇

NPO入門講座【設立編】【運用・応用編】の2講座を、かつしか区民大学認定講座として開催します。NPO関連法、基本的知識やノウハウ、団体運営の基本、NPO法人の設立方法などを学ぶことができます。

「設立編」ではNPOの基礎知識を学んだ後にNPO法人設立のワークショップを行います。「運用・応用編」ではNPOの経営について学び、設立編で設立したNPO法人の運営について考えるワークショップを行います。両講座のご参加をお勧めいたしますが、どちらか一方の講座のご参加も可能です。

◆日程【設立編】2月6日(土)

【運用・応用編】3月5日(土)

◆時間 13:30～16:30 (13:00より受付開始)

◆費用 無料

◆会場 亀有地区センター 第一会議室

◆講師 石井宏明氏(認定NPO法人難民支援協会)

◆申込【設立編】

フォーム



専門講座

◇NPOのマイナンバーまるわかり講座◇

2016年1月から開始されるマイナンバー制度について、NPOのマイナンバー制度の基礎からNPO特有の注意点などを学んでいただく講座です。

◆日程 2月21日(日)

◆時間 13:30～15:30 (13:00より受付開始)

◆費用 無料

◆会場 亀有地区センター 第二会議室

◆講師 家村啓三氏・柏本和江氏
(社労士家村事務所)

◆申込
フォーム



◇かつしか未来創業塾～コミュニティビジネスで作る地域活動～◇

自分たちが住むまちに必要なモノ・サービス・環境などを、地域に暮らす人自身が作り出し、まちを元気にするコミュニティビジネスを基礎から学び、そして地域課題を考えるワークショップを通じ実践的な力を身に付けます。

◆日程 2月27日(土)

◆時間 13:00～18:30 (12:30より受付開始)

第1部：入門編13:00～15:00

第2部：実践編15:30～18:30

◆費用 無料

◆会場 亀有地区センター 第一会議室

◆講師 黒川照太氏(NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター)

◆申込
フォーム



専門相談

NPO法人を運営するうえで、定款作成やガイドライン作り、法律面に関して疑問のある方・・・

労働者の雇用に関して聞きたいことがある方・・・

決算書の作成で分からないことがある方・・・

地域貢献活動を行う中で、法律・会計・税務・

労務・運営などの問題を、それぞれの分野の専門家に相談できます。

専門相談日程(毎回13:00～17:00)

○司法書士→1月8日、2月5日

○税理士→1月8日、2月12日

○社会保険労務士→1月15日、2月19日

○弁護士→1月22日、2月26日

会場：地域貢献活動サポートデスク

※予約制です。あらかじめ電話、Eメールでご予約ください。お問い合わせは地域貢献活動サポートデスクへ。

※1回の相談時間は1時間程度。

※予約の状況次第で、当日来所していただき、相談することも可能です。

一般相談

NPOや市民活動団体、NPOに興味がある方、ボランティア団体、その他の団体や個人、企業など、皆さんが取り組む活動や抱えている問題に対する相談や支援を行います。サポートデスク窓口及びお電話やEメールでのお問い合わせ、お待ちしております！

各種講座・専門相談等のお申込み及びお問い合わせ先

〒124-0012 東京都葛飾区立石3-12-1

立石地区センター別館・勤労福祉会館

TEL: 03-5670-7251 FAX: 03-5670-7252

MAIL: chisapo@katsushika-shakyo.com

コラボかつしかまつり

10月25日（日）に第10回目の「コラボかつしかまつり」が開催されました。「コラボかつしかまつり」はNPO団体などと区民を繋げるまつりです。当日は風が少し強かったですが、とても良い天気に恵まれました。例年と比べ来場者数は少なかったものの、発表・展示コーナーはそれぞれの団体の特色が出ており、また駐車場では、エチオピアカレー・ホタテ・コロッケなどの模擬店が出店し、来場者の空腹を満たすなど、子どもから大人まで楽しめるおまつりとなりました。また、2011年以降、人口66,874人の宮城県気仙沼市で復興まちづくりに取り組む「からくわ丸」を招き、葛飾区内でまちづくり活動をされている方とシンポジウムも行いました。

11月19日（木）にはコラボかつしかまつりの振り返り会が開催されました。以下、振り返り会に出席された方々のご意見の一部です。

- 近隣小学校へのアピールをもっとすれば良かったのでは。おまつりを知らない子もいた。
- 家族連れで食事をできる場所がもっと多くあれば良い。
- 経験がない人でもわかるように部門ごとに「虎の巻」を作成してはどうか？
- 例年より参加者数は少なかったのではないかな。

全体の振り返りからは色々な意見が出されましたが、「立石らしさ」があって良かったという声が大半でした。来年度のコラボかつしかまつりは反省点を活かし、より良いおまつりを目指していきます。実行委員の皆様をはじめご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



本年のコラボかつしかまつりを終えて 実行委員長 飯田 充

地域貢献サポートデスクと、初めて協働したおまつりでした。今回で10回目だったので、実行委員の皆さんは、何か新しいことを、と考えたと思います。図らずも、サポートデスクの佐藤さんがボランティアとして活躍した被災地東北気仙沼と素晴らしいコラボができて、来会者も喜んでくれて、意義のあるものとなりました。

テーマに「つながRe!」即ち、「原点に帰ろう」というコンセプトが打出され、メインイベントの「立石の縁日」で、地域の人々の交流が昭和時代から振り返られ、模擬店や大道芸の懐かしさに、「町の在り方」も考える催しになりました。大きな括りでいえば、地方と都市、今と昔の「つながり」も考えるようになったのではないのでしょうか。参加団体や、サポートデスクのおかげだと思います。このまつりでは、今後とも「つながること」「協働」を大切にしてもらいたいと思います。



い い ね ! か っ し か

基本情報

- ◆学校法人 東京シューレ学園
東京シューレ葛飾中学校
- ◆住所 〒124-0024
東京都葛飾区新小岩3-25-1
- ◆TEL 03-5678-8171 FAX 03-5678-8172
- ◆MAIL info@shuregakuen.ed.jp

◆東京シューレ葛飾中学校の設立

東京シューレ葛飾中学校の母体は東京都北区にあるNPO法人東京シューレです。ここでは学校以外の子どもたちの居場所・学びの場として、「フリースクール東京シューレ」「ホームシューレ」「シューレ大学」での活動を展開し、不登校の子どもたちを支援しています。これらのフリースクールの考えが踏襲され、東京シューレ葛飾中学校は2007年に設立され、これまで約360人が卒業し、80～90%がさまざまな高校へ進学しています。東京シューレ葛飾中学校は国の構造改革特区を活用し、学校法人の認可を東京都から受け、文部科学省から独自の「不登校児童生徒等を対象とした特別の教育課程の編成」を承認された、私立中学校です。

◆公的な学校をめざしたワケ

学校でのいじめや、人間関係などの悩みがあるとき、学校以外の場所、フリースクールがあることで、そこで学習し成長できる。

しかし、フリースクールは公教育ではないため、資金的な援助はもらえず、また、不登校になった学校と通うフリースクールとの二重籍の問題がある。進級と進学の資格は校長にあるため、フリースクールへの理解が乏しい学校の場合は、子どもを無理に学校へ行かせようとします。そして、学習環境を比較しても学校の方がフリースクールより整備されています。

これらの理由から、公的支援がなされ、正規に社会に通じるフリースクールを諸外国のように目指し始めました。

◆東京シューレ葛飾中学校の玄関前



◆不登校が入学の要件

東京シューレ葛飾中学校は誰もが入学できるわけではありません。入学の要件は不登校であることで、在籍している学校から不登校を証明する書類の提出をしてもらいます。不登校が入学の要件なので、子どもが不登校であることに保護者は堂々と東京シューレ中学校の入試に臨むことができます。

生徒同士も前の学校で不登校や保健室登校をしていた者同士、みんな同じ立場の子どもたちなので、気持が通じるため気後れせずに学校生活を送れています。

◆お話を伺った奥地校長



◆子どもが主役の学校

東京シューレ葛飾中学校では子どもたちが学校づくりに参画しています。異学年で形成されたホーム（クラス）ごとにミーティングをしますし、各ホームから代表者を選出し、保護者と学校からの代表も出席する学校運営会議で、学校の教育活動や活動内容について、出来るだけ子どもたちと決めています。

大葛祭（文化祭）や修学旅行、旅立ち祭（卒業式）などの行事では、やりたい生徒が自ら実行委員会を立ち上げ行事を企画します。11月3日に開催された大葛祭は617人が来場して大変盛り上がりしました。

また、各教科の普段の授業は、年間の授業時数が一般の中学校と比べ少なくなっていますが、それは文部科学省に認められています。その分、東京シューレ中学校独自のカリキュラムである、「いろいろタイム」「プロジェクト」「それぞれの活動」といった生徒の体験を深めるプログラムがあります。これらのプログラムでは、生徒が楽しみながら興味があることに取り組み、体験から学ぶようにしているのです。



◆奥地校長からひとこと

9月1日前後は子どもの自殺者が圧倒的に多い（年間約400人の子どもの自殺者）。自殺に追いつめられる子は、学校でいじめに合っていたり、嫌なことがあったり、友達とうまくいってなかったりするが、それでも学校に行かないといけないと思っています。そして、そのプレッシャーから自ら命を落としてしてしまうのです。私は、死にたくなるほど苦しいのであれば、学校に行かなくていいと考えています。学校に行かなくてもいい、休んでもいい、自分のペースで進めればいいと、保護者や教師が促してあげることで、自殺という悲しい出来事が減っていくと思います。そして、諸外国のように公的支援のもと、フリースクールの開校や、自宅での教育を認めるなど、多様な選択肢の中から子どもにあった選択が可能な社会にするためにも、教育の多様性を目指しているのです。

メールマガジン

地域貢献活動サポートデスクから毎月2回、メールマガジンを配信しています！講座やイベント、助成金の情報など、葛飾区内のNPOや、これから活動を考えている方などに有益な情報を配信します。メールマガジンお申し込みを希望される方は、下記のQRコードから申し込んでいただくか、地域貢献活動サポートデスクへ、

①氏名 ②所属団体 ③電話番号を
ご記入のうえメールをお送りください。

地域貢献活動サポートデスクメールアドレス：chisapo@katsushika-shakyo.com



コラム

【連載コラム】③災害とCSR

「CSR」とは、Corporate Social Responsibilityの頭文字を取った略称です。日本語にすると「企業の社会的責任」と訳すことができます。これは、企業が利益だけを追求するのではなく、企業が社会や地域に与える影響についても責任があるという考え方です。

CSRは2011年に発生した東日本大震災以降、加速度的に注目を集めているのと同時に、多くの企業が真剣に取り組みを始めています。具体的には、企業が持つノウハウや、自社製品、サービスを被災者や被災自治体などに支援活動として繋げていくことが求められています。

葛飾区のことを考えてみましょう。葛飾区には多くの企業が存在し、地域と共存しながら、あるいは、地域のリーダーとして大きな役割を担っています。そこにはCSRという言葉や概念に囚われない、「企業の社会的責任」が成り立っています。

しかし、災害時にその役割を十分に果たすには、事前の準備が必ず必要です。もし災害が発生してしまった場合、企業であれば、地域貢献の前に自社の安全管理や社員の安全管理、災害の状況に応じた復旧計画などが必要になります。それを乗り越えた上で、社会や地域のなかで、役割を果たしていく必要があります。

地域貢献活動サポートデスクでは、CSRに関するご相談もお受けしています。災害時のことだけでなく、企業として地域で取り組みたいこと、企業としての地域活動ってどう始めたらいいのか？BCP（事業継続計画）について話を聞いてみたい、などのお悩み・考えがありましたらぜひサポートデスクまでご連絡ください。

執筆：主任相談員 佐藤大地

アクセス・お問い合わせ

地域貢献活動サポートデスクは葛飾区立石に窓口があります。NPOに興味のある方、これからNPOをはじめようとしている方、既にNPOで活動している方などを対象に、NPOに関する講座やイベントを開催しています。また、NPO法人設立の支援やNPOに関する悩み事の相談を受ける一般相談、各種専門分野の講師をお呼びして、相談会を開く専門相談を行っています。葛飾区内で活動されているNPOや、NPOに関心のある方々の支援、情報交換の機会づくり、多様な主体との関係づくりに取り組み、地域コミュニティの活性化を進めます。

地域貢献活動サポートデスク

○住所

〒124-0012

東京都葛飾区立石3-12-1

立石地区センター別館・勤労福祉会館内

○電話番号：03-5670-7251

○ファクス：03-5670-7252

○Eメール：chisapo@katsushika-shakyo.com

○窓口時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

